

平和とよりよき生活のために

広島の せいきょう

第31号 2010年9月30日
広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0802

広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル

TEL 082-532-1300

FAX 082-232-8100

URL: <http://kenren.jccu.coop/hiroshima/>

生協の平和活動

広島県生協連、会員生協では多様な平和活動に取り組んでいます。2010年度の取り組みの一部を紹介します。

生協ひろしま

カープ球団とともに平和をアピール「ピースナイター」

8月5日(木)、マツダスタジアムでプロ野球公式戦を通して平和をアピールする「ピースナイター」を開催しました。核兵器廃絶の分岐点となる今年は、被爆65年、広島東洋カープ創設60年。そこで、来場者に配布するピースポスターには、カープの歴史とともに被爆から現在にいたるまでの広島の復興の歴史を記載しました。5回裏にはこの緑色のピースポスターを観客全員で掲げ、さらに原爆ドームと同じ25mの高さには、赤色のピースポスターを掲げ、ピースラインを表現。ジョン・レノンの「イマジン」が流れる中、平和への思いをひとつにしました。



観客・監督・選手がつけてプレーしたピースワッペン

この日は、ナイターの前に広島市内で全国の生協組合員が集う「虹のひろば」も開催されており、そこに参加した他県の組合員さんもピースナイターにられました。「予ねてより参加してみ

たいと思っていました。5回裏のパフォーマンスの時には、球場の全員が平和の想いをひとつにでき、とても感激しました」(コープみえ)「すごく感動した。今回11名の参加だったが、もっと参加できれば良かった」(コープやまぐち)など、他生協からも多くの感動の声が寄せられ、県内外の方に広く平和のメッセージを伝えることができました。



緑色の中にできた真っ赤なピースライン

広島中央保健生協

病院で開催した平和行事

生協さえき病院では、8月5日、被爆ピアノの演奏とソプラニストによる平和コンサートを行いました。被爆ピアノは、演奏活動を通じて平和を訴えてこられた方からコンサート当日に寄贈されたとても貴重なピアノです。病院の患者さま、利用者さま、職員など95名が参加して耳なじみのあるクラシック演奏を満喫したり、会場の参加者といっしょに歌える楽曲を合唱したりと、とても感動的な平和コンサートとなりました。

福島生協病院では、8月6日、沖縄医療生協の理事をお迎えして「沖縄戦と戦後の沖縄—米軍支配と基地—」という題で講演会を行いました。沖縄の基地問題、戦中・戦後の歴史を生でお聞き出来る機会は滅多にないので貴重な平和学習の場となりました。



福島生協病院:講演会



生協さえき病院:平和コンサート

日立因島生協

平和のつどい

7月25日(日)、当日は朝から猛暑の中86名が参加した市民平和行進の終了後、「平和のつどい」を開催しました。

爽やかな歌声のアンダーグラウンドバンド(平均年齢60歳近くの親父バンド)の平和の歌を聴き、ともに合唱しながら暑さを忘れ癒されました。



演奏するアンダーグラウンドバンドのみなさん

4ページに続きます▶

2010 ピースアクション in ヒロシマ 開催



日本生協連合会と広島県生協連合会主催で、全国の平和の活動と願いを広島に持ち寄る「ピースアクションinヒロシマ」は、「継承と創造～ヒロシマから平和な未来を築こう!～」をテーマに、8月4日～6日まで開催し、3日間でのべ約1,900人が参加しました。

8月5日 ヒロシマ虹のひろば

会場:広島県立総合体育館 グリーンアリーナ

虹のひろばには全国の生協の組合員1,000人が参加しました。

「虹のステージ」では、主催者挨拶の後、秋葉忠利広島市長からNPT再検討会議後の活動について熱いメッセージをいただきました。次にNPT再検討会議代表団として参加したみなさんが壇上に上がり、代表団副団長の橋野俊子さん(生協ひろしま理事)がニューヨークの活動について報告をしました。

被爆の証言では元日本生協連会長、元コープこうべ理事長の竹本成徳さんから「さいごのトマト ヒロシマをわたし自身の「ことば」で」と題してお話いただきました。涙ながらに証言を聞かれた方も多く、心にしみるお話でした。

「みんなのひろば」では、各地の生協や広島の平和団体の出展ブースや各コーナーで交流しました。「核兵器廃絶コーナー」では、オリジナルの紙芝居の上演やクイズを行い、署名の訴えをしました。また、木片に平和の思いを描くコーナーなど、どのコーナーも盛況でした。

最後のフィナーレは「虹の合唱団」です。幅広い年齢層が参加する合唱団とともに会場全員の合唱で「虹のひろば」を締めくくりました。

プログラム

【虹のステージ】

- オープニング
フリーダムによる歌と演奏
- 主催者挨拶
(日本生協連事務理事 芳賀唯史)
- 広島市長ご挨拶(秋葉忠利広島市長)
- NPT再検討会議代表団報告
- 被爆の証言(竹本成徳さん)

【みんなのひろば】

【フィナーレ】 ○合唱



オープニング【フリーダム】



爽やかで力強い歌声に引き込まれます。

被爆の証言【竹本成徳さん】



高齢にもかかわらず力強い心にしみる証言でした。

秋葉広島市長挨拶



2020年に核廃絶する決意を述べられました。

NPT代表団報告



核廃絶への活動の想いを共有しました。

工作コーナー



みんな真剣に木片に絵を描いています。

紙芝居・クイズ



広島弁の紙芝居が今年も好評。

子どもの平和の絵



参加者の投票で優秀作品を選びました。

フィナーレ 虹の合唱団



子どもたちも一生懸命歌いました。

ブース 県内生協のみなさんが出展されたブースはどれも大賑わいでした。



8月4・5・6日 分科会

碑めぐり、被爆の証言、ユニセフ・ワークショップ、サダコと折り鶴の話、NPT再検討会議後の活動を考える分科会など16の多彩な企画で、のべ910人が平和について学びあいました。



碑めぐり



被爆の証言



サダコと折り鶴の話

2010 市民平和行進

2010市民平和行進は7月19日の呉市の行進を皮切りに、9つのルートで、延べ846人が参加しました。新たに東広島と呉で行進が取り組まれ、昨年のように大雨による中止もなく、昨年より参加者が246人増えました。今回は各地域の実行委員主導で組合員の参加しやすい平日に取り組むところが多く、熱中症対策やアピールなど、それぞれ工夫された取り組みが行われ、小さい子どもから80代の方まで参加する行進となりました。

【主 催】
2010市民平和行進広島県連絡会

- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県地域女性団体連絡協議会
- 広島県青年連合会
- 広島県宗教者NGO協議会
- 広島県生活協同組合連合会

7/19
呉
(61人)



7/25
因島
(86人)



7/25
東広島
(141人)



7/27
三原
(63人)



7/28
福山
(85人)



7/26
広島
(55人)



7/31
三次
(120人)



8/3
廿日市
(72人)



8/4
慰霊碑に
献花・黙祷



8/4
終結集会



8/4 全体
稲荷橋
西詰

平和公園
(163人)



生協の平和活動

広島県学校生協

被爆地ヒロシマの教職員として

米国オバマ大統領が「核兵器のない世界の実現を目指す」としたブラハ演説に核廃絶の期待が高まっています。広島県学校生協では県生協連合会が取り組んだ「核兵器禁止条約の早期締結を求める請願」署名に取り組みました。2010ピースアクションでは県内各地域で行なわれた「市民平和行進」と8月5日の「虹のひろば」へ参加しました。「虹のひろば」では＜みんなのひろば＞で被爆アオギリを題材とした絵本の展示と平和カレンダーの展示・配布を行ないました。＜虹の合唱団＞にも参加しました。

教育現場では組合員さんが8・6原爆記念日を中心として平和教育に取り組んでいます。平和教育の後退が言われていますが、被爆地ヒロシマの教職員として核兵器廃絶の願いを次の世代に引き継いでいきたいと思います。



被爆アオギリを題材とした絵本の展示
＜みんなのひろば＞

広島医療生協

『平和まつり』開催

今年の平和まつりは7月24日(土)の午後に開催し、NPT再検討会議に参加された3人の方の報告を中心に進みました。その報告のなかで、「全会一致で最終文書を採用した背景の一つは、医療生協をはじめとした代表団が各国代表を激励し、市民や平和団体と交流して輪を広げたこと、さらに700万筆の「核なき世界を求める」署名を開幕前に届けたことがある」と強調されました。

安佐地区9条の会や生協ひろしま、「ピカに灼かれて第5集」を編集した職員、さらに高校生平和ゼミナールの報告など、平和活動に取り組む幅広い団体、個人から報告を受け、参加されたみなさんも核兵器を廃絶するためにさらに活動を上げようと決意を新たにしました。



高校生平和ゼミナールのメンバーも参加



「ピカに灼かれて第5集」を編集した
2年目職員の報告

福山医療生協

NPT再検討会議要請行動へ代表派遣

今年5月のNPT再検討会議・国連要請行動に、福山医療生協の代表を送ろうと、組合員・職員から広く公募したところ、居住地域で九条の会を主宰している門田哲雄さんが名乗りを上げられました。

派遣費用捻出のために広くカンパを呼びかけ、各支部や班、個人、事業所などからたくさんの協力が寄せられました。さらに、城北地域の組合員さんのボランティアによる昼食バザーが4回取り組まれ、職員を中心に多くの協力がありました。また、昨年作ったオリジナルの九条Tシャツ(1着1,500円)販売の利益もこの間は派遣費用に充当しました。合わせて48万円を超える資金ができました。署名は組合員や事業所から、また福山駅前の街頭宣伝などでの4237筆でした。報告会はこれまでに生協内で3回、生協外で2回行われています。



昼食バザーのボランティア



昼食バザーに協力した職員



NPT再検討会議要請行動報告会